



玉川村立
玉川第一小学校

自ら取り組み、心豊かでたくましい子ども



令和3年10月14日
No. 15
文責：校長 酒井



学校だより 玉一っ子通信



結果よりも大切なもの!(小体連陸上大会)

「…制限される中で、少ない時間でも、目標を持って取り組んできた選手の皆さんの、今日までの一日一日の積み重ねの方が、結果よりも大切だからです…」



今年玉一は、小体連陸上競技大会の事務局でしたので、主催者として大会の開会式で、上記のようなあいさつをさせていただきました。大会そのものが縮小されただけでなく、どの学校も練習に十分な時間を費やすことができず、しかも常にマスクの着脱や手指消毒を意識するなど、制限を強いられました。玉一も練習時間が少なく、十分満足のいく準備ができたとはいえませんでした。しかし、その中でも目標を持って取り組んだ経験は、必ず子どもたちの財産になるはずで、結果だけを気にするのではなく、思い切って競技してしてほしいという願いは、本校の先生方、保護者の皆様の思いを代弁してのものです。思いが伝わったのでしょうか、当日の子どもたち一人一人の表情はとても引き締まり、目は輝いていました。

もちろん「結果」も大切です。これまでのがんばりのバロメーターとなるだけでなく、新たな目標の貴重なデータとなります。ですから、結果に一喜一憂するだけでなく、冷静に受け止めて次にいかす事も重要と考えています。

当日、やり切った満足感を胸に清々しい表情を見せる児童とは別に、結果が出ずに悔しい思いをした児童も多くいました。「もっと練習しておけばよかった」と反省の言葉も聞かれました。いずれにしても、この経験を次にいかせるかどうかは、子どもたちの受け止め方にかかっています。勝っておごらず、負けて腐らないよう、これからもしっかり指導したいと思います。

忙しい中での保護者の皆様の応援とこれまでのご協力に感謝いたします。

<第40回小体連陸上競技大会記録(入賞者のみ:敬称略)>

順位	名前	種目	記録	順位	名前	種目	記録
8	曲山 晴翔	男子100m	15" 08	3	上野 由理	女子100m	15" 94
2	鈴木 譲	1000m	3'06" 36	7	宍戸 美優	女子1000m	16" 16
8	仁井田 遥斗	男子走幅跳	380 cm	2	吉田 夢花	女子走幅跳	333 cm
男子4×100mR				5	安藤 眞白	女子走幅跳	320 cm
3	鈴木 譲 仁井田 遥斗 塩澤 柊玖	曲山 晴翔 吉田 星哉 西川 遵承	56" 93	※ 学年委員様には、朝早くからの児童控え場所のテントの設営等、大変お世話になりました。			

テーマ決定! 「ねばり強く 勝利をつかめ 玉一っ子2021」 作:溝井 りお さん



今年度の運動会のテーマが決定しました。全校生より公募し、6年生が選定委員となり責任を持って決定しました。昨日放送により全校生に発表されましたが、運動会の練習にも力が入りそうです。

校長先生が言っていた合い言葉の「ネバナバ」を活かしたいと思い、「ねばり強く」を入れてみました。「玉一っ子2021」というのはオリンピックの雰囲気が出るといいなと思いを考えました。

看板つくってもいいですか?



「校長先生大変です、オオスズメバチがウジョウジョいます。」
「えーどこに?それは大変だ案内して!」
登校後すぐに、子どもたちが駆け寄ってきて教えてくれました。すぐに確認すると、居ました居ました確かに居ました。すると、「看板つくってもいいですか?このままじゃ危険です。」と、第一発見者の4年生二人。仲間を集めて早速看板の制作にとりかかりました。担任の先生や用務員さんの協力を得て、その日の放課後には見事に作りあげた注意喚起看板。



玉一では、普段から、「よいと思ったことは失敗してもいいから進んで行く。」ことを奨励しています。自主性を育てるには、多少の失敗には目をつむる必要もありますが、今回の4年生の行動力には脱帽です。お陰様で、現在被害者は…「0(ゼロ)」です。

多忙化解消に向けた取り組みへのご協力のお礼

錦秋の候、保護者の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、本年度の4月から本校では保護者の皆様のご理解とご協力を得ながら、教職員の多忙化に努めて参りました。教職員の児童一人一人と向き合う時間の確保と教職員の心身の健康維持を目的とした取り組みですが、お陰様で下記の通り成果が現れてきましたのでお知らせいたします。
また、課題はありますが、保護者の皆様のご協力を得ながら引き続き進めて参りますので、今後ともご理解お力添えをお願いいたします。

記

1、文書（お知らせ・お便り等）の精選

＜文書の精選，重複等を避けた情報の一本化＞

- ◎ 複数回に渡ってお知らせしていた内容を精選しましたので、はじめは忘れ物（弁当等）がりましたが、保護者の皆様が意識してくださったお陰で、以前と変わりなくなりました。
- ◎ 学級だより等を精選できたため、その時間を、学習の事前準備等に変えることができたこと、教職員からも好評です。
- ◎ HP（ホームページ）の閲覧が1日平均400件近くになりました。子どもたちの様子を写真により具体的に伝えることができています。

2、教職員の定時退勤の実施

＜教職員に退勤時刻を意識させ、職務の効率化の実現＞

- ◎ 教職員の超過勤務時間が減りました。直近の9月は、昨年度平均41時間の超過が、今年度は34時間となり、7時間の短縮となりました。
- △ 学校での超過勤務は少なくなりましたが、一方で持ち帰りの仕事も増えているので、今後の課題とします。

3、児童の登校時刻

＜児童の健康，安全の確認と感染予防のための，適性な時刻の登校＞

- ◎ 登校時刻の目安（7：30以降）を守る児童が多くなり、学校の安全管理や児童の健康管理を徹底できるようになりました。
- ◎ 7：20より前の欠席や問い合わせの電話が少なくなり、教頭等による朝の校舎の見廻りがじっくり行えるようになりました。
- 退勤時刻後の電話による問い合わせ等が以前より少なくなりました。

4、一斉下校日の設定

＜一斉下校日の設定による，児童の自主学習や読書，地域のボランティア活動等への参加の時間の確保と教員の質の向上のための研修の時間，打合せや会議の時間の確保＞

- 「歩こう歩こう大作戦」を通して、一斉徒歩下校を行い歩く習慣は少しずつ身につけてきましたが、学校側としての安全面の配慮は今後とも必要な状態です。
- △ 帰宅後（早いお帰り）の時間の過ごし方には課題が残っています。ゲームやSNSに時間を費やしてしまう児童も多く見られました。

※ 児童が登校の時刻を守るようになり、徒歩による通学を行う児童が増えました。意識して歩く距離を伸ばしている児童や低学年を気遣って一緒に歩く高学年の児童の姿も見られるようになってきました。合わせて、お知らせいたします。

